

第20回 全国「水」の俳句大会入選句が決定されました。

「全国水の俳句大会」は、「水」をテーマとして、俳句を詠んでいただくことを通じ住民の皆さんが下水道事業効果を間接的に体感していただき、下水道事業の円滑な推進に助力し、住民と行政の架け橋としていくことを目的として実施されています。

今年も、多くの作品が全国から集まりました。

その中から特選3句、準特選13句、入選88句が優秀作品として選ばれました。



☆☆☆☆  
特選  
☆☆☆☆

1  
処理水に生きて目高の子沢山

大阪府高槻市

浜田淳江

(75)

2  
逃げ水の向こうから来るボランテイア

東京都目黒区

石川泳球

(74)

3  
秋遍路合掌を解き水を飲む

大阪府豊中市

安達逸子

☆☆☆ 準特選 ☆☆☆

1 蝌蚪の水ためらひながら鍬洗ふ

大阪府東大阪市  
土屋鉄男

(86)

2 海開き宇宙に一つ水の星

大阪府岸和田市  
大橋宮子

(77)

3 噴水に一言告げて退職す

神奈川縣茅ヶ崎市  
清水茄子

(74)

4 下水道の蓋に名所や雲の峰

大阪府茨木市  
芳井ひろみ

(68)

5 大河とてここに始まる石清水

兵庫県川西市  
高森功一

(79)

6 淀川の水をたまはる植田かな

大阪府東大阪市  
中川靖子

(76)

7 貯水池むかし此の辺蛍飛び

奈良県宇陀市

西田文子

(81)

8 湖澄めり富士を写して美し国

大阪府吹田市

山崎禎子

(91)

9 せせらぎに白き踝夏帽子

京都府八幡市

河本宏子

(76)

10 田水張る血潮の如き用水路

大阪府八尾市

佐藤豊子

(76)

11 水足して夫へ盛夏の風呂加減

大阪府羽曳野市

福田和子

(75)

12 明日へと繋ぐ暮色に水を打つ

大阪府枚方市

高木美智子

13 島と島つながる海は秋めけり

広島県豊田郡

谷本佳子

(77)

\*\*\*入選句\*\*\*

1 打ち水に無言お辞儀の舞妓かな

宮城県仙台市  
渋谷陸前

(63)

2 みちのくに旨き水あり今年酒

宮城県亘理郡  
鈴木わかば

(75)

3 ふるさとや波の音する啄木忌

茨城県牛久市  
塚本洋子

(89)

4 白鷺二羽平然と居り出水あと

群馬県前橋市  
品川瑞華

(17)

5 溜池の固き水門春浅し

埼玉県東松山市  
地田玉水

(75)

6 走り込み氷水浴び生き返る

千葉県大網白里市  
松崎 稟

(12)

7 ここなりと迷子応へり残暑沢

東京都江東区  
三吉野而今

(72)

8 あの夏に妻と歩いた水の径

東京都品川区  
堂々 功

(76)

人孔を噴水として襲雨去る

神奈川県横浜市  
竹石筑水

(69)

一憂を捨てるつもりよソーダ水

神奈川県横浜市  
蓮見ふじ江

(78)

夏の日の大滝小滝伊豆の旅

神奈川県横浜市  
原木正泉水

(76)

螢も寂しがりやか火の妖し

神奈川県横浜市  
宮川邦子

(77)

処理場の水面つんつん鬼やんま

神奈川県さいたま市  
松本喬風

(76)

紅梅や水たつぷりと絵の具溶く

神奈川県茅ヶ崎市  
清水吞舟

(76)

泥水を掻き出す漢の玉の汗

神奈川県福井市  
荒川洋子

(71)

田に水を入れて夕日を溶かしけり

神奈川県越前市  
石本志明

(90)

水処理の良きをよろこび鮎のぼる

神奈川県越前市  
高中遊子

(88)

17

16

15

14

13

12

11

10

9

18	水打つやあるがまんまにはたづみ	長野県長野市 渡辺忠男	(81)	処理水の水耕栽培ミニトマト	大阪府大阪市 加納ゆき	(82)	27
19	翡翠の一直線や水飛沫	静岡県熱海市 久呉道子	(95)	夏休みプレスで覚え水の味	大阪府大阪市 旭堂南華	(55)	28
20	人知れず澄む処理水や上り鮎	愛知県豊田市 城山悠水	(71)	ベランダのプール水はる盆休み	大阪府大阪市 佐藤二郎	(71)	29
21	暗渠出て村を離るる春の水	三重県鈴鹿市 古川和子	(71)	水鉄砲わざと撃たれに寄って来る	大阪府大阪市 柴田良子	(74)	30
22	水温み川面輝く日の出時	滋賀県大津市 安部天満喬	(72)	水澄むやひとりは淋しとも言えず	大阪府大阪市 田中ゆみ子		31
23	炎天下樋を漏れる水の音	滋賀県近江八幡市 八田一步	(81)	ミスト浴び水フォーラムの始まりし	大阪府大阪市 辻井喜代子	(71)	32
24	隔てなき命の水や山滴る	滋賀県草津市 堀竹善舟	(75)	仁淀川神秘の青に水澄めり	大阪府大阪市 西島真利子	(60)	33
25	グラウンドの水撒き終へて始球式	大阪府大阪市 伊尾かかし	(57)	水を打つ柄杓の先より風生まる	大阪府大阪市 宮崎浩枝	(79)	34
26	水仕事しているあいだ猛暑とぶ	大阪府大阪市 泉 かづえ	(69)	名水や滴る石に苔の花	大阪府大阪市 湯浅たかし	(78)	35

44	だんじりや顔顔に水しぶき	大阪府吹田市 辻本東登	(73)
43	夕立にかりる軒下消える街	大阪府吹田市 仙石修策	(79)
42	淀川のこの道が好き揚花火	大阪府吹田市 大角泰子	(77)
41	流木は時空の記憶水の秋	大阪府堺市 間谷雅代	(71)
40	処理水の流れに浴ひて避暑散歩	大阪府豊中市 渡辺美紀代	(74)
39	亡き母よ娘よ来ませ水を打つ	大阪府豊中市 根津満代	(69)
38	薫茸きの残る山里水澄めり	大阪府豊中市 空野昭枝	(70)
37	滴りも集めて山の発電所	大阪府豊中市 榎原みどり	(71)
36	薔薇咲くや水の都のど真ん中	大阪府大阪市 渡辺伝三	(80)

	母の背に水という字の浮ぶ夏	大阪府東大阪市 泉杏	(70)	45
	登山帽黒部源流掬ひあぐ	大阪府東大阪市 北野泰子	(75)	46
	葉にキラリ夕立のあとしずくおち	大阪府東大阪市 多幾山昌子	(70)	47
	まったりと打水の先京女	大阪府東大阪市 谷口美津子	(79)	48
	窓閉ざす五右衛門風呂や蟬時雨	大阪府東大阪市 中島典子	(73)	49
	螢舞ふ闇を舞台に水を追ふ	大阪府東大阪市 額田利秀	(65)	50
	雨音や三味の音遠き京の秋	大阪府東大阪市 横手美佐子	(92)	51
	お地蔵に水を手向けし彼岸花	大阪府東大阪市 横手由子	(71)	52
	敬礼で過ぐ日盛りの巡視艇	大阪府寝屋川市 宇治文子	(78)	53

62	藻の花やひかり華やぐ処理の水	大阪府河内長野市 脇山良子	(70)
61	小抽斗一つ一つの梅雨じめり	大阪府河内長野市 和田マサミ	(79)
60	散水車大地の声を聞きながら	大阪府河内長野市 野田ますみ	(73)
59	船頭の住き棹さばき秋の雲	大阪府茨木市 小林千晶	(61)
58	秋簾巻き上げ水辺の風を呼ぶ	大阪府富田林市 尾崎千鶴	(82)
57	一滴を集めし黄河の秋を往く	大阪府枚方市 二の丸懐風	
56	打水に打水しぶき決勝戦	大阪府池田市 枇榔蓉子	(80)
55	さん付けで泉を呼びぬ麓村	大阪府寝屋川市 永田順子	(75)
54	遠よりの水音膨るる水芭蕉	大阪府寝屋川市 柏田陽子	(86)

	五月雨に煙る故郷校舎跡	大阪府高石市 北山 憲	(69)	63
	雨おいで早くおいでとキユウリ花	大阪府泉南郡 波多野 守	(77)	64
	沖よりも浜辺に未来さくら貝	大阪府泉南郡 吉村金一	(60)	65
	百選の駅てふ海の景涼し	大阪府三島郡 上村美津子	(76)	66
	水の星されど淡水三パーセント	兵庫県神戸市 平峯 真	(68)	67
	代掻や棚田におとす神の水	兵庫県尼崎市 坂手かつ子	(80)	68
	足し糠のなじむ糠床水中花	兵庫県宝塚市 神澤定子	(92)	69
	滝壺の踊りづめなる水の精	兵庫県宝塚市 西村 宏	(87)	70
	殉職碑写しダム湖の水澄めり	兵庫県宝塚市 広田祝世	(73)	71



72 嵐過ぎ水溜りにはあめんぼう

兵庫県西宮市  
影田清晴

(71)

73 水を打つ魔界に近き京の辻

兵庫県西宮市  
比企博子

(74)

74 打ち水の石畳濃く輝けり

兵庫県川西市  
織田美代子

(76)

75 水に生き水に朽ち行く蓮かな

兵庫県川西市  
常村一則

(75)

76 打水に彩とり戻す人も樹も

兵庫県三田市  
古田寛子

(74)

77 辱暑来て水一滴のうつくしき

兵庫県西脇市  
村井みさを

(74)

78 一村に水音のして田水張る

兵庫県川辺郡  
鍵谷寿乃

(78)

79 処理水に金魚尾を振り気泡吐く

兵庫県川辺郡  
小林恕水

(73)

80 炎天や地球の青は水の色

奈良県奈良市  
杉田ゆりよ

(69)

仁王立ちシャワーの下の夏の空

奈良県奈良市  
辻本允子

(77)

81

急流の大岩小岩鮎光る

奈良県宇陀市  
西村美子

(88)

82

村の子らの背中の光る川泳ぎ

奈良県宇陀市  
森よし子

(85)

83

先ず顛顛六腑に染みる氷水

奈良県宇陀市  
矢野紘子

(75)

84

素潜りで水の子となる夏休み

奈良県北葛城郡  
今中京都

(68)

85

処理水で育むトンボ秋の空

奈良県高市郡  
谷口賢司

(67)

86

水たまりふわりと飛んで梅雨晴間

広島県広島市  
羽城裕子

(55)

87

節水は母の口ぐせ心太

福岡県福岡市  
永田寿美香

(60)

88

印象に残った句について選評いたします。

処理水に生きて目高の子沢山 浜田淳江  
処理水に生きての言いまわしがとつてもいいと思います。子  
沢山で少子化を気にしている様子も伺えます。

逃げ水の向こうから来るボランテア 石川泳球  
追っかけても捕まえない逃げ水、ところが不意に現れた  
ボランテアの方々、被災者には有り難い話し、嬉しいです  
ね。

噴水に一言告げて退職す 清水茄子  
何気ない動作ですが、人生に区切りをつける気分がよく出て  
います。第二の人生をやるぞという気力に溢れています。

蝌蚪の水ためらひながら鉄洗ふ 土屋鉄男  
春耕の後、鉄を洗おうとしたけれど、蝌蚪が群れている。悪  
いことをしたなあと侘びながら洗つてる様子が実に微笑ましく  
自然との共生を感じます。

水足して夫へ盛夏の風呂加減 福田和子  
今どき水を足す生活があるのかなあと思いつつ、よき夫婦と  
はこんな姿を言うのでしょうかね。

島と島つながる海は秋めけり 谷本佳子  
島に住んでいる作者ならではの句。句全体が大きく広々とし  
て、秋を迎えた瀬戸内海の島々の情景が浮かんできます。

ふるさとや波の音する啄木忌 塚本洋子  
啄木の歌「東海の小島の・・・」を連想しつつこの句を詠ん  
でいるとやっぱり波の音がしてきます。

白鷺二羽平然と居り出水あと 品川瑞華  
自然に抗うことなくまく付き合う動物の姿見習いたいです。  
小学生時代から連続の投句、頭が下がります。有り難う、お礼申  
し上げます。